

no 64

ショウドウツバメの巣穴

侯蘭新

西北民族学院食品科学・動物科学系

呂明・馬力

新疆師範大学生物系

訳 福井和二

ショウドウツバメ新疆亜種(*Riparia riparia diluta*)は国内では僅かに新疆地区に分布するのみで、その生態学的研究の資料は甚だ少ない。1990年6月末、筆者は新疆省温泉県*において、ショウドウツバメの巣穴を開くことによって得ることが出来た資料を以下に報告する。

調査地は温泉県内の博尔塔拉河沿岸のショウドウツバメの重要な営巣地で、河の北岸、日当たりのよい、垂直に切りたった土の断崖である。その高さは10mほどで、巣を造るのには最適な条件である。したがって、巣の密度は非常に大きい。

三つの巣穴を開いて観察した結果は表1に示す。ショウドウツバメの巣洞は水平に掘られ、途中で分岐しているものがある。三つの穴のうち、1号は巣洞が二つに分岐しており、2号は一本の巣洞、3号は三つに分岐しており、それぞれの先端に巣が造られていた。巣には卵あり、雛あり、造りかけの新巣あり、また旧巣もあり、その詳細は表1の通りである。どの巣の親鳥も共同で出入り口を使用していた。あらためて番号をつけて表2に巣の資料を示す。

ショウドウツバメの巣は浅い碗状で、巣材は枯れ草と細い木の枝を使用し、内側に羽毛が用いられている。ただし、旧巣では羽毛が見られなかった。1号巣では産卵途中の新巣であったためか、内面の羽毛が見られなかった。巣の直径は10cm内外、新しい卵は純白で、卵径は約12×15mm、平均重量0.97gであった。

表1 ショウドウツバメの巣洞計測資料(mm)

巣洞No	分岐巣洞	巣洞長	洞の高さ	洞径
1	1-1	60.0	6.3	11.0
	1-2	70.0	7.5	11.0
2		87.0	7.0	9.0
3	3-1	40.0	6.0	8.0
	3-2	49.0	5.0	7.0
	3-3	59.0	5.0	7.0

表2 ショウドウツバメの巣の資料

巣No	新旧別	重量(g)	巣材	内容
1	新	8.3	枯れ草, 枝	3卵
2	旧	8.3	枯れ草, 枝	
3	旧	23.4	枯れ草, 枝	
4	新	19.8	枯れ草, 枝, 羽毛	雛1
5	新	13.3	枯れ草, 枝, 羽毛	5卵
6	新	8.6	枯れ草, 枝, 羽毛	5卵

訳注

* 新疆省北西部のロシア、カザフスタン共和国と国境を接する県